

“2年連続” 人口転入超過達成のポイント

① 主要な大都市で最も長期間の転出超過から、
“2年連続”で転入超過を達成

② “日本人”的さらなる改善

- ・特に“女性”的改善が加速
- ・“三大都市圏”との間で改善が加速
- ・昨年に引き続き“若者”的改善も継続

③ 市域の広範囲で改善、特に“拠点となるエリア”を中心に改善

主な要因

① IT企業をはじめとした
企業誘致の加速

② 子育て支援施策の拡充・強化

③ にぎわいづくりの進展

【問合せ先】
政策局政策課
担当：（人口統計）竹内（課長）、（各種取組）高岡（課長）
電話：093-582-2302

歴史上、長期間の転出超過を経験した大都市は
転入超過への転換後に必ずしもトレンドが継続していない

→ 北九州市はトレンドが継続

北九州市

京都市

大阪市

名古屋市

転出超過【59年連続】
※主要な大都市で最も長期間

転出超過【44年連続】

転出超過【32年連続】

転出超過【20年連続】



※過去に連続20年間以上の転出超過を経験した大都市を抽出

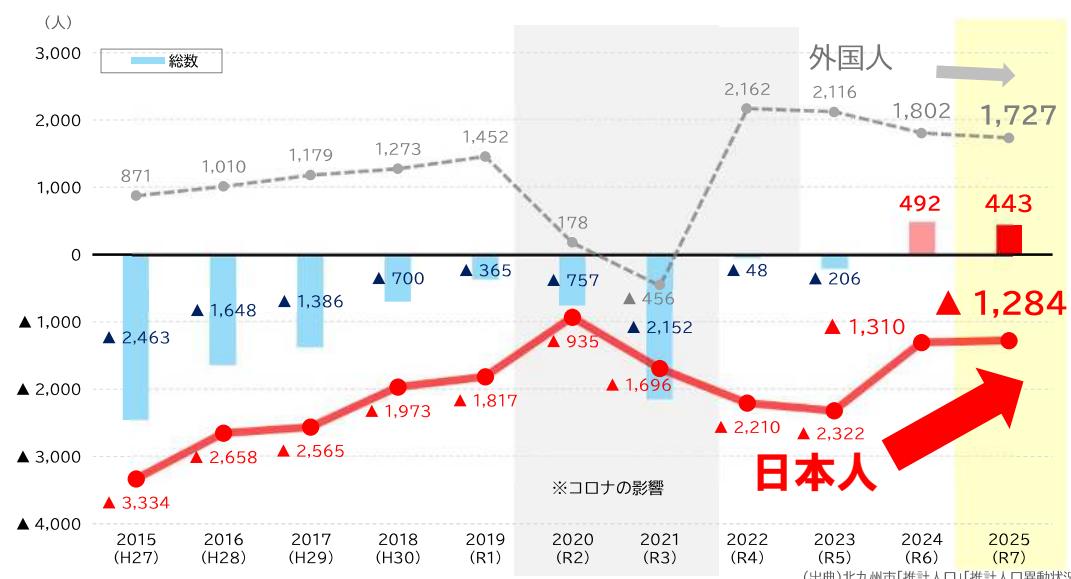
(出典) 大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

3

“2年連続”の人口転入超過達成
→ 社会動態の改善トレンドが確たるものに



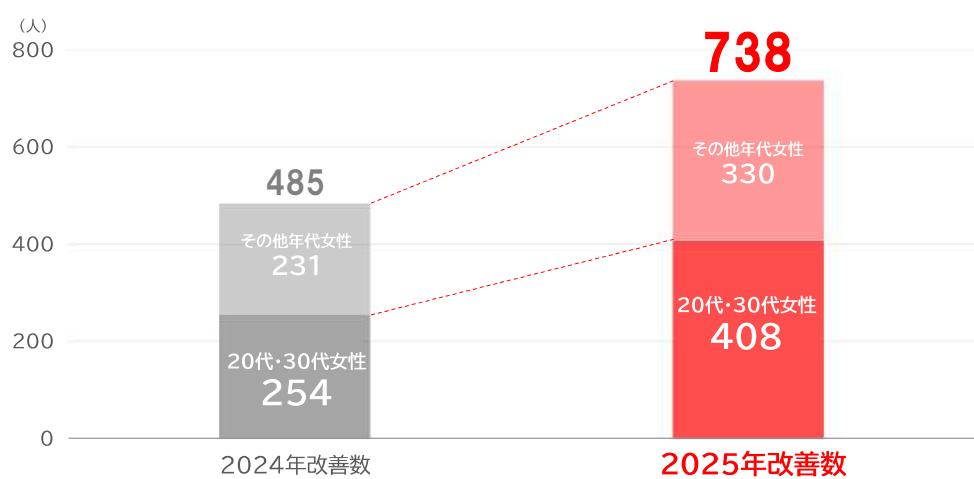
日本人は大幅な改善が見られた2024年をさらに上回り、外国人は鈍化が続く。



5

若い世代をはじめ 女性の改善が加速

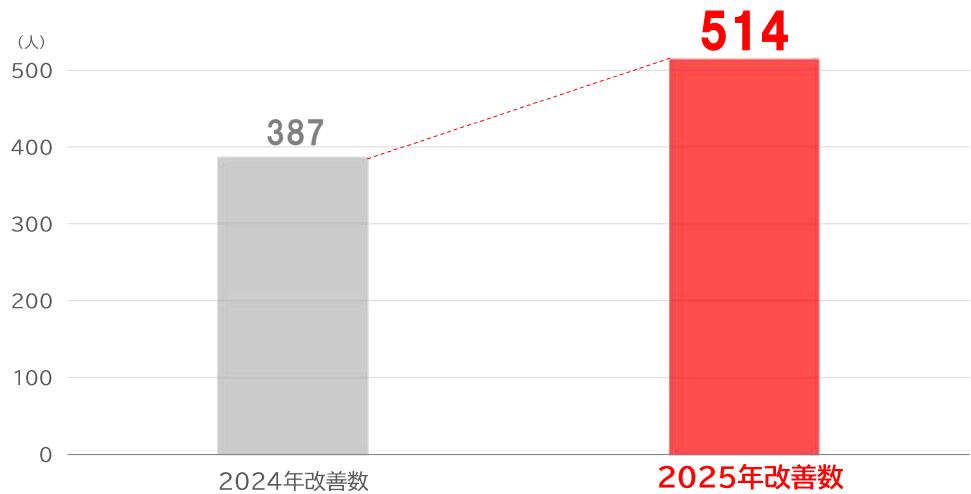
◆日本人・女性の社会動態改善数 ※転入超過達成前・2023年との比較



6

三大都市圏との間で改善が加速

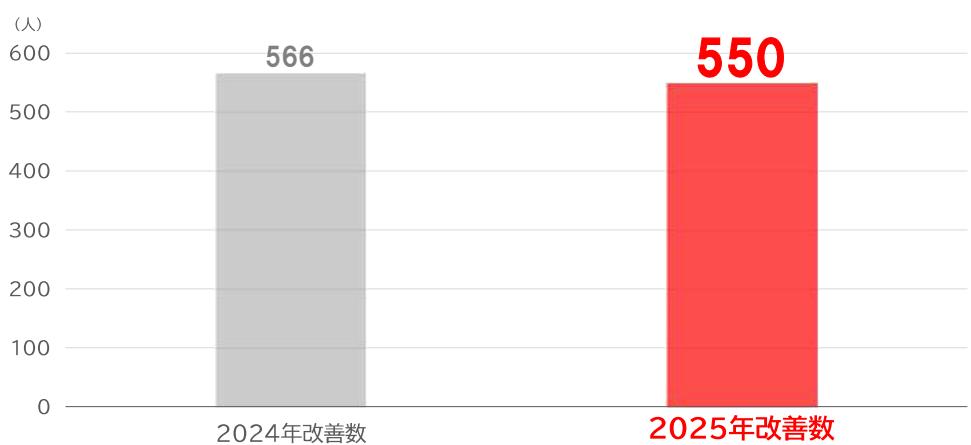
◆日本人・三大都市圏との社会動態改善数 ※転入超過達成前・2023年との比較



7

若者(20代・30代)の改善が続く

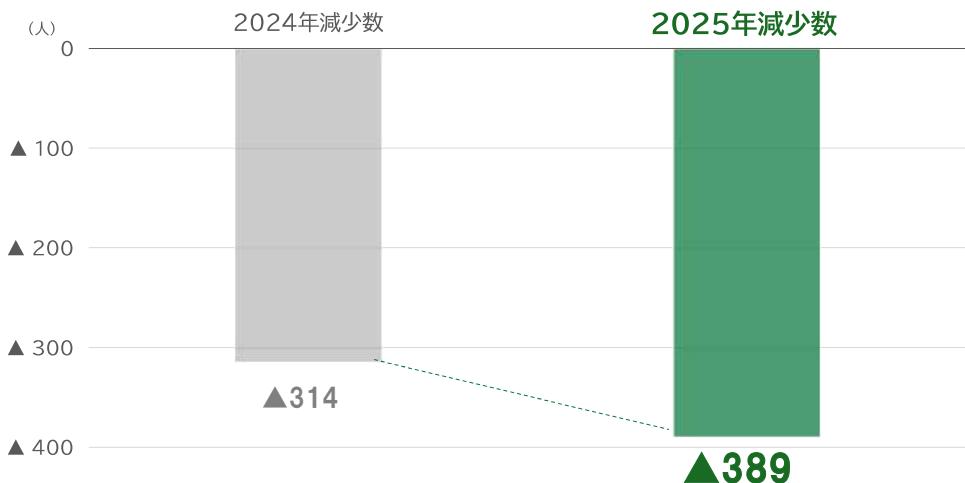
◆日本人・若者の社会動態改善数 ※転入超過達成前・2023年との比較



8

一方で 外国人は鈍化が進む

◆外国人の転入超過減少数 ※2023年との比較

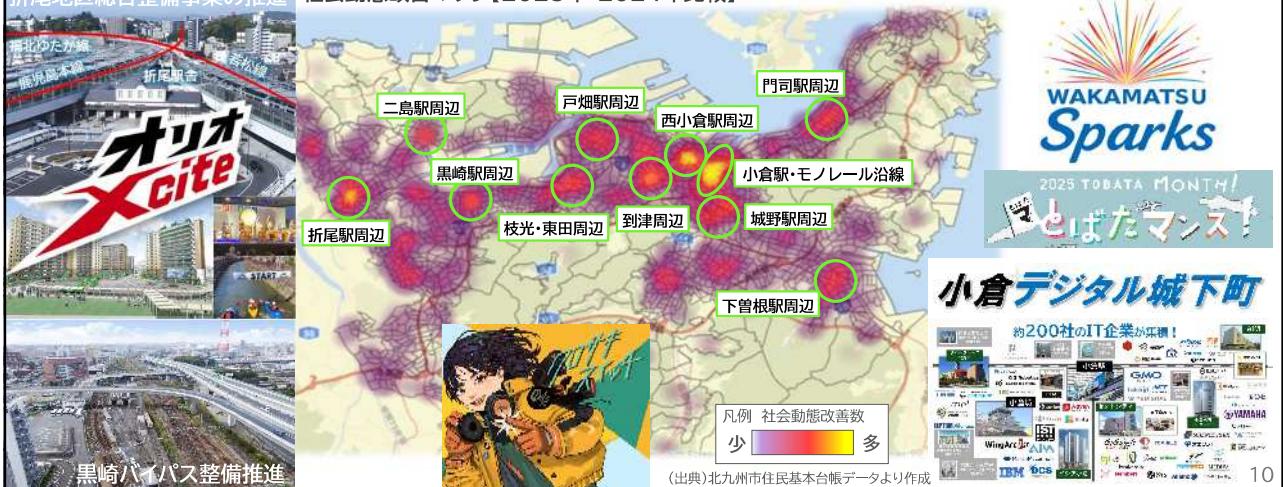


(中曲)北九州市「推計人口異動状況」

9

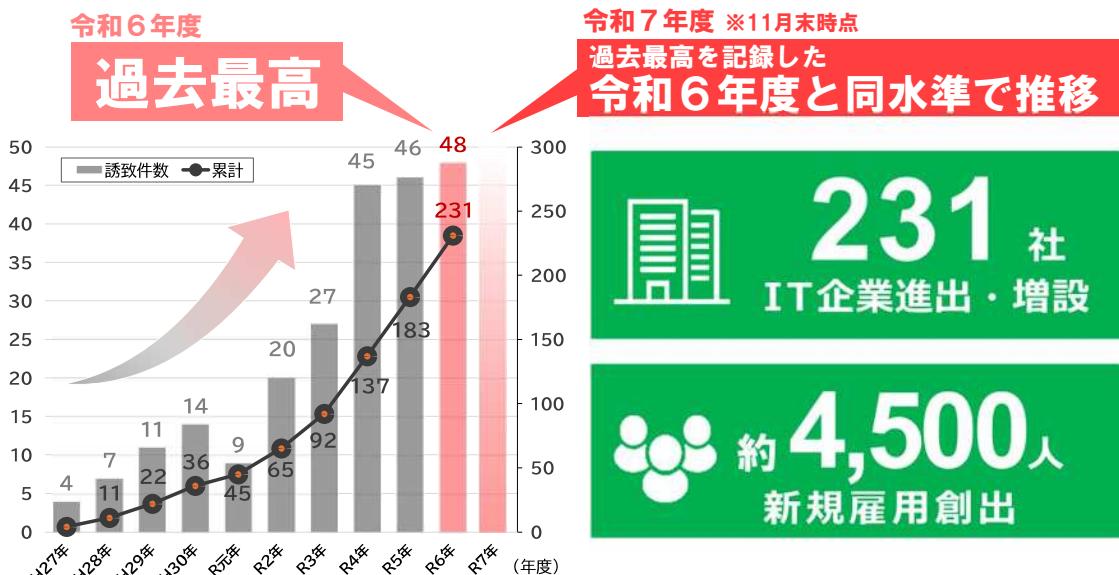
市域の広範囲で改善・拠点となるエリアで特に改善
→ 各エリアのポテンシャルが継々と発揮

折尾地区総合整備事業の推進 社会動態改善マップ【2025年・2024年比較】



(出典)北九州市住民基本台帳データより作成

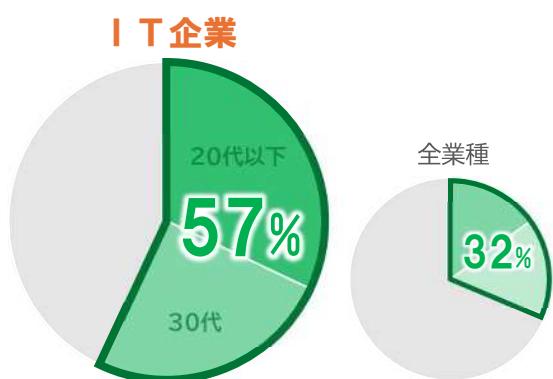
IT企業の進出加速 ～誘致から集積へ～



11

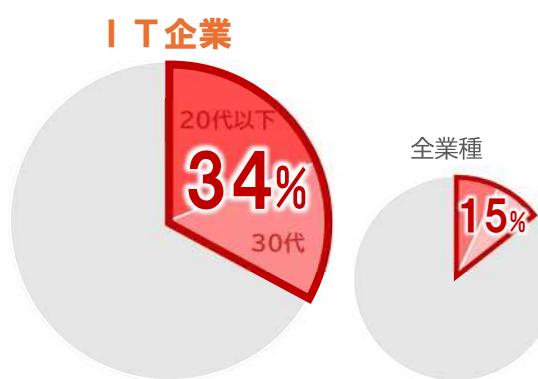
IT企業の誘致が進む → 若者と女性の雇用創出に大きく寄与

■全従業員に占める若者（30代以下）の割合



IT企業は、全従業員に占める
若者（30代以下）の割合が大きい

■全従業員に占める女性（30代以下）の割合



IT企業は、全従業員に占める
女性（30代以下）の割合が大きい

（出典）IT企業：北九州市調査（R6年度） 全業種：総務省「令和2年 国勢調査」12

今後の北九州市の人口に関する展望（有識者コメント）

青山学院大学
経済学部長
経済学研究科長
教授

井上 孝 氏

（日本人口学会会長）

- ・北九州市の強みは、長年積み上げてきた製造業の集積、ものづくりの技術があること。
- ・産業の発展は、人口に大きな影響を及ぼす。
今後、全国的に人口減少が進む中にあっても、
国内需要のみならず、グローバルな需要を取り込める
製造業に強みがあることは、人口政策上の観点からも
大きな意味がある。
- ・また、近年ではIT企業の誘致が進んでいるとのことで、
引き続き注力し、産業の幅を広げることも重要である。
- ・北九州市がその強みを生かし、持続的に成長することができれば、北九州市の人口も全国的な減少トレンドとは異なる展開を歩んでいくことも十分考えられる。
- ・北九州市には、その十分なポテンシャルがあると思うので、今後の展開に注目している。

13

今後のさらなる施策強化のポイント

① 学力向上等による教育環境の充実

② 若者の地元定着の促進

③ 女性にコンフォートなまちづくり

14